磐城日日
發行所 磐城日日新聞社
福島縣小名浜町諸廻51
電話代表387番
振替仙台31,355番
編集兼發行人 長瀬芳郎

二十六年度産米供出 全國六位で完遂

小名濱町は二十五石超過

福島食糧事務所小名浜出張所管内二十六年度産米供出は豊間町がすでに完遂し、小名浜も九日四千二百八十石八斗七升五合を供出して遂に二十五石八斗七升超過の成績を以つて完遂した

これに次ぐものとして江名は本日中に完納の豫定であり、泉は十四日頃鹿島は二十日頃になるものとみられている

なお本縣の供米は九日午後二時をもつて割當量の八十三万五千石を四千七百二石超過して見事完遂したが、この成績は昨年に比して二十日早く全國では第六位である

港灣修築の促進

水野町長ら陳情に上京

小名浜港、港湾修築に関する陳情のため水野町長渡邊運輸省小名浜工事事務所長、三代地区漁業協同組合長、野崎港灣對策委員長の四氏は九日午後二時小名浜驛發にて上京したが十日は運輸省、十一日は建設省、十二日は農林省を訪問する豫定である

小名濱町の經濟委員會

小名濱町經濟委員会では横町―定西線の道路擴張の件につき十二日午前九時より役場町長室に於て委員會を開く

建築士會員 小名濱見學

百六十名の優秀なる会員を擁する福島縣建築士會濱通り支部では來る十三日の日曜午前十時から全会員に呼びかけて小名濱町の既設建物及目下工事中の近代建築を見學することになつた

小名浜製錬工場工事現場及び日本水素工場、晝食後は小名浜町古湊漁業家三代義勝氏の豪荘な邸宅を見學する

会費は無料（汽車賃は自辨）貸切バス及晝食はすべて支部にて負担する

輪界の王座 富士自轉車

錦農協増資完遂

菊多方部のトップ切る

錦町農業協同組合では三億増資運動目標百六十七萬一千圓に對して七万円を超過百七十五萬一千円を増資して見事目標を完遂した、この好成績の陰には鶯組合長以下農協役員が寢食を忘れて町内各部落毎に座談会を開き、全組合員に趣旨の徹底を計つたもので菊多方部管内ではトップを切つてこの成績を獲得した

尚菊多方部他町村では現在九〇％の成績を收めており遅くも舊正月までには全部完遂するものとみられている

不起訴不當と審議會へ

昨年四月の地方選擧に出馬して落選した湯本町三函鮮魚商森下熊市（四五）氏は當選した同町笠井小井戸庄松（五七）氏外四名が選擧運動費を法定より超過したから當選無効であると告發したが同八月地檢平支部で不起訴處分になつたのを不服として直ちに平檢察審議会に異議を申立てた

預金と無盡 株式会社 大東相互銀行

一變せる青年氣質

植田町の正月風景

植田町の正月三日間は元旦一日の外二日間は天氣に惠まれなかつたが講和批准を約束された年の事が一般に意識されたものらしく例年にない人出であつた

然も昨年に比べて所謂アプレ的な行爲をなす者が目立つて少なくなつた樣だ、炭礦は戰前のように戰後始めての「ボーナス」を懐中にして礦員達も子供の防寒衣に目を注ぐという有様で、酒樓に足を入れるもの丶殆んどなく一パイの中華そばに滿足して映画見物が關の山であつた、それ平だ、水戸だと青くなる迄遊んで居た從來の正月に見る青年諸君も、外套のポケットに週刊朝日を忍ばせて和かな枯草の上で日向ボッコしながら時局を談じ合う青年諸君の幾群かをみた、試に商店街についてきいて見ると賣上げは子供ものが多かつたとの事以て國民の思想の動向も察知出來ると思う

各炭礦は三日から又炭掘作業に入つている、此の方面でも亦良く事業主と協力して生産力を盡している二年前の勞務者氣質とは打つて變つたものだ

街の音盤

舊歳末も近い九日の朝九時頃小名浜の玄關ともいうべき泉の驛前に怪しげな街頭インチキ「くじ屋」が其の筋の眼を盗んで密かに店を張つた

暮氣分で何んとなく慾の皮がつ丶張りたい人の心をたくみに摑んだこのアンチャン（どうも湯本の籠由という常習デンスケらしい）丁度バスを待つていた小名浜町竹町の貴婦人？小松フユ（假名二六才）さんと鈴木モト（假名二〇才）さんの二人が小金なのか「へそくり」なのか知らないがとにかくデンスケアンチャンを甘くみて張つたのが運のつき三千五百円をまんまと瞞しとられて泣べそをかき乍ら二人で泣きついてようやくお情けで貰つた五百圓は返して貰つたが虎の子の千圓はとにかくアンチャンの懐に……数分間で千圓を稼いだアンチャンはそのま丶ドロン……

貴婦人？二人はなんとなくおさまらず小名浜地區署でまたオイ〳〵……貴婦人ならずどなたでも街頭トバクは絶對インチキですぞ御用心 御用心

× ×

九日朝小名浜町西町善六染物店前で四才位の刈りあげの可愛らしい坊やが迷子になつて「お母ちゃん」を連呼……通り合せた人が早速地區署に連絡……事務の野崎ミヨ子孃早速坊やを連れて訊きただしたがモクヒケン？行使で判らず丁度居合せた本社のN記者キャラメルグリコでなだめすかしたところ四つの坊やとは思えぬなか〳〵言語明瞭：「ボク…ツヨシちゃん、お母さんはウメタユリコ」早速役場經濟課の志賀サク子孃を煩して配給台帳をめくつて調査したところ、小名浜町中坪六一梅田ユリ子（二四）さんの坊や剛ちゃん（四才）と判り送り届けたが、警察―新聞社―役場連絡のスピード調査に、お母さんのユリ子さん「歯の治療中に坊やが飴買いに出て…そのま丶」と感激にむせんでいた

めでたし めでたし

印刷は…… ナカセ印刷所へ 小名浜町諸廻

農村の女性よ 勤勞の尊さ知れ

勝村強

空はよく晴れ渡つた過ぎし日の午後、M町郊外に數名の農村女性が生花用の花らしきものを新聞紙で包み道も狹しと廣がり談笑しつ丶歩いて行く、私は聞くともなく彼女達の言葉を耳にした

「俺らア百姓、よくよくやんなつちやつた……」

「私もまつぴらだよ、土いじりは……」

「百姓やつている者は馬鹿ばかりだよね……」

「私や百姓やえは絶對に嫁に行かないつもり……あんたわ……」

「私だつて！」

この言葉は今迄朗らかであつた私の心を「アッ」と云う間に曇らせてしまつた、爆發點に達せんとする心を押さえ押さえ遂にペタルに全身をのせて彼女達の視界より立ち去つた

彼女達は勤勞の尊さを知らない何たる事であろう若し彼女達に「日本再建の最大の急務は何か」と問えば即時「産業の復興」と答えるに違いない、産業の復興は口先丈けで叫んでいても實行せねば何時まで經つても實現するものではない、それには血と汗を流す勤勞あつて始めて達成されるのである

彼女達よ、都会に嫁ぐのもよかろう、農村の娘は農村へというのではないしかし勤勞を卑しんでの都会進出ならば大いに考える必要がある 文化の向上も産業の復興も食糧の増産あつて始めて可能なのである、國民すべてが生産に全力を集中し然して不足分を外國に依存するのであつて、始めよりの他力依存は最も愼しむべきである

文化國家を夢見るのあまり、勤勞を卑しむが如き彼女達の行爲はいわゆる猿としての物眞似に過ぎず誤れる民主々義であり悪平等である、民主々義に徹するアメリカにおいても婦人達は職業婦人として生産に從事する傍ら文化向上に努めているではないか、まして敗戰國民が仂くことを拒否する如き態度があつてはならない、勤勞は私達の義務である、徒らに自由を唱え自由と放縱を混同してはならない、若しもそのような事があれば國家再建も一瞬の悪夢に終つてしまう恐れがある、人の成功、不成功を論ずるに地位財産や才能の有無で決すべきでなく、その人がどれだけ世の爲め人の爲めに盡したかにより決するべきであろう、されば職業に貴賤はなく勤勞者こそは匿れたる偉人ともいえよう、都会の華美にばかり憬れ都会へ都会へと人心が向つたならばどうなるか、戰前に於けるあの都會膨脹は日本をして頭の大きい奇形兒たらしめ戰禍の爲め一魂の灰燼と化したではないか、私達はあの二の舞を踏んではならない、古よりわが國は農本主義の國家であり農を尊び士に立脚して榮えてきた國家である泥や汗にまみれた身体の持主こそ尊き人である勤勞即再建の言葉を胸にしつかりと抱きしめ徒らに世論に惑わされず信念をもつて土に親しむことこそ農村青年の進むべき道である

しかるに彼女達は何故に都会にのみあこがれるのであろうか、それは農村文化があまりにも低く娯樂機關のないことも一應うなづけるが、農村青年は結束して文化農村の建設運動を強化し明るい住みよい村を築くことに努力し農村恐慌の來襲を未然に防止し日本をして再び奇形化するのを農村青年が率先勤勞の重要性を再認識して防ごうではないか

土地付賣家
土地―約一〇〇坪
家屋―二階建六〇餘坪
場所―水産高校通り目抜の場所
申込所 弊社宛

女中さん若干名雇入れます
昨冬來より新築中の別館近日中落成
新春、若葉の香り馥いくと！弊館自慢の別館各室は御來宿皆さま方の一夜の憩の宿として充分御滿足を得る事と信じて居ります、是非御出で下さいませ
旅館 若葉館
小名浜町第二小学校前 電話三五〇番

宴會には ゼヒ中華料理で
なお最近肉鍋を始めましたからどうぞ御賞味下さい
出前は多少に拘らず迅速にお届けします
平華
平駅前 電358番

江戸前壽司 割烹、仕出し
雷すし
小名浜町水素前横通り 電話十二番
◇宴会には是非粋な座敷で!!
（お座敷女中募集）

遺失物について皆様への懇請

恒例の江名町美術文化展開催のため出品物運搬途中舊臘廿九日午後五時半小名川橋より千秋表具店前迄の道路上において眞一の画（ナマズ二匹）の「かけじ」を紛失しました。お借り物とて責任上こまりはて丶おりますから御拾得の方は御一報希いたく謝禮を呈します。

江名町中央通社会福祉事業家 金井一眞

第三種郵便物認可　新聞定價一ヵ月60円 一部賣3円〔月曜休刊〕
磐城日日
昭和27年（1952年）1月11日（金曜日）【第435号】

悲惨な一家庭を中心に織りなす隣人愛
正月の街に咲く人情美談

この程醫療保護の申請があつたために町役場厚生課でその実情を調べたところ、人情紙風船にも似た、薄く冷たい世相にもかゝわらず温かい隣人愛に悲惨などン底生活に喘ぎから救われた一家庭を中心とした新正月の街に咲いた美わしい人情佳話が明るみに出た

小名浜町古港一三二に居住する漁夫前出金次郎（三〇）さんの妻キミ（二九）さんは昨年の七月四日に三女みつ子ちゃんを出生してから体が弱くなり醫者通いをしていながらも家事一切をきり廻わしつゝ侘びしい日を送つていたところ、八月の中頃可愛いゝかつ子（二才）ちやんをなくしてしまつたそのためキミさんは落膽した余り次第に病勢も悪化し町内二ヵ所の醫師の治療を受けたが容易に癒らず十二月一日に磐城共立病院へ入院したところ胃癌と診斷され手術せねば一命にもかゝわるとまで悪化していた、親戚とてない前出さんは仕事どころではなく自分が看護に附添わねばならず、そうなれば可哀想なのは殘る幼兒二人である これを見かねた知人の高橋りんさんは何んとかこの急場を救つて一時子供等を預つてくれる人はないかと奔走したところ次の遠藤さん、辻さんが引取つてくれた

其の一＝古港三組の遠藤勇（四四）さんは小名濱工事事務所の勞務者で現在五人の家族をかゝえて生活も余り樂ではないが人の難澁を默つてみていられない性分から前出さん一家の氣の毒な姿をみかねて長男の久一（四才）ちやんを十八日より引取り吾が子以上に氣をくばつて養育しているが、久一ちやんも子供心に別れている病む母を慕いながら温い家庭にしつかりと守られて母の全快を神かけて祈つている事であろう

其の二＝古港一八組の辻金次郎（五六）さんは漁夫で心のやさしい持ち主で船主からも同僚からも親しみ信頼されている、現在三人暮らしで余り豊ではないがこの話を聞きいたく同情して先月の十九日生後百七十日にしかならない乳呑兒の二女みつ子ちゃんを引取つて造り乳にオシメの果てまで夫婦揃つて面倒をみているこれを傳え知つた町役場厚生課の係員は勿論町内の人々も遠藤、辻さん兩家庭の善行にいたく感激している

梅津君鳥取で氣焔
すでに二千キロ走破

十一月四日湯本町役場前に於いて長谷川公民館主事金士社会課長始め多數の見送りをうけて全國戰歿者、炭礦官廳殉職者、海上遭難者の慰靈供養のマラソンに出發した湯本町三函一六五元善行寺僧侶梅津眞郎（二九）氏は十二月三日秋田を出發して山形、新潟、柏崎を通過して北陸路に入り善行寺に於いて供養後酷寒にもめげず一路裏日本をひた走りに富山、金澤、福井を經て七日早朝鳥取市の縣廳玄關先にランニングシャツにパンツ姿の勇姿をあらわした、これを見た人々は当世流行の駅傳選手の練習と思つたが肩にかけたタスキの全國戰歿者供養靈場參拜の文字をみて驚きの目を見張つたとのことである、梅津さんは

自分は學問もないがこうして体當りで全國の戰歿者の靈を慰めると同時に戰後廢頽した若い人達の道義の高揚をお願いしている、出発以来二千キロを二ヶ月間夜は寺に泊り、晝は走り續けてきた

とこの寒む空に白い息をはきながら元氣に語つていたという

日本水素のマラソン

小名浜町日本水素小名浜工場では文化体育運營委員会の主催により來る十五日（火）の成人の日をトし泉駅往復約八キロの社内マラソン大会を行うが成績優秀者は來る二月三日の中村＝平間驛傳競争に出場する豫定であり、多數の參加を望んでいる當日は午前十一時三十分事務所前集合、同四十分出發となつており、入賞は五等までで出場全員には參加賞を贈る

〆切は十二日午後四時まで各課陸上競技部員に申込むこと

天神丸無事歸港
巡視船「うづら」の初手柄

小名浜町元分一九比佐政種氏所有底曳漁業第三天神丸（四〇屯）は八日夜十一時船長江川友治郎さん以下十三名が乘組み底曳漁に小名浜港を出港したが九日午前九時三〇分東北東五〇哩の漁場で機關に故障を起し荒天高浪のために東北方に流されるとの救助無電が小名浜漁業用海岸局にあり、小名浜海上保安部巡視船「うづら」は救助のため急行したが夜半現場に到着、阿部船長以下二十名の必死の救助作業に依り無事曳航して十日午前十時三十分歸港した

神白の湯で
アドルム自殺

江名町大字上神白字追分三〇鑛泉旅館國元屋伊東國香さん方に東京都太田區大森町二ノ一七七学生比佐不二夫（二三）と稱する学生風の男が投宿中であつたが九日午前七時頃部屋にて苦悶中を宿の者が發見、大騒ぎとなり小名浜町本町石井醫院の手當を受けたがアドルム十錠を嚥下しており時間も相當經過して居たため遂に同日夕刻絶命した原因は厭世自殺らしく、なお本籍が小名浜町字林ノ上二四七であることが判明、死体は即日家人に引渡した

食事中に五萬円（植田）

山田村法田古着商澤田嘉七さんは七日午後八時半頃植田町本町大盛食堂にて食事中僅か三十分の間に店頭に置いた衣類五十点をつけた中古自轉車五万円相當を何者かに盗まれた、屆出でにより地區署では犯人捜査中

天氣予報 11

【本日】南東の風がやゝ強く小雨が降つたり止んだりの天氣ですが遅くなつて風は北西に變り晴れて來ましよう

【海上】南東の風が強く時化模様となりますから漁船は御注意下さい

暮から正月へ 東北の奇習 ⑧

歳頭燒

山形縣西置賜郡小國本村小口小坂町の舊正月十五日朝早く、子供達は各家々の門に出してある正月の松と藁を持ち出して小坂町地内に集める、そこには一本の長い木を中心として松と藁とがならべられる、この夜燃やされるためである

さて夜になると老も若きも手に松明用の「おのがら」＝麻をとつた殼＝藁などを持つて山に登る、そして松明に火をつけそれをふり〳〵山を下り、その火を持つて先にならべた松や藁に火をつける山に登ることの出來なかつた人々もとの焚火には集まつてきてあたる、なお家々に留守居する人々のために、との火を持ち歸つてあたらせる

この夜の火のあたることは体を丈夫にするためと云い傳えられている、との夜林間を明滅する松明を遠くから眺めるのは誠に美しい、嘗つては山に於いて木を短かに切り、互に投げ合つて勝負を決し、勝つた町は一年を通じて凡てに勝つという縁起をつけたとか、今は行われていない

鳥追い

山形縣東村山郡長崎町及び附近の村落の農家では舊正の十五日に雪の上に藁、豆殻、茅の穗などをもつて田植の行事をなしこの稲に出穗を食い荒すために飛んでくる鳥を追い拂う眞似をする、これを行う若者や男の子供達は部落又は町内毎に一団となつて鉱力罐や太鼓を鳴らし

ほつつのほやろ、それらの馬鹿野郎）ほやろのてでご（馬鹿野郎の おやぢ）蜂にけつ（尻）さされて、いたえどて（痛いとて）かゆえどて（痒いとて）なけやろ（泣け野郎）なけやろと家々を戸口に立つては大聲で叫び歩く、鳥追いの一團をうけた家々では餅や銭を與える

×　×

魚菜市況 10

【小名浜中央青果市場】丸大根一七〜二〇、牛蒡八五〜九〇、ほうれん草七九〜一〇〇、人参三〇〜六〇、あぶら菜一把一〜二、里いも八〇〜一〇〇、さつま二二〜三五。へら菜二〇〜二五、ねぎ三五〜四五、干大根四〇〜六一、白菜四〇〜五〇馬鈴薯四五〜六〇、れんこん一四〇、卵八、五〇〜九

【小名浜魚市場】はも四五〇、めた四五〇むし五五〇、ぎす一三〇〜一四〇、えび二、一〇〇、さめさ四五〇、なめた四五〇、いか七〇〜一〇〇、たこ一七〇〜二〇〇めぬけ三七〇、あかじ三三〇、中ひらめ六〇〇〜九〇〇

労災保険指定病院
醫療法人 松村病院
院長 松村 亨
平市驛前大通り 電話107番

畳表替の好期が參りました
本場琉球表
備後表及
上敷ゴザ・うすべり
其の他附属一式等を各種取揃えて
目下特價販賣中で御座います
寒さに備えて もつとも經濟的な 煉炭及豆炭を御使用下さい
營業品目 砂糖・畳表・食油・石鹼 紙・燐寸・荒物・雑貨 金物・陶土器・煉炭 東和かまど・藁工品
煉炭豆炭代理店
榮屋商店
福島縣小名浜町古港 電話3番

お正月の装いに洋装も良いけれど
和服姿も亦!!優美てす!!
御召.銘仙.ショール.服生地類豊富
舊年末迄良い品を特價にて御務め致します
是非御來店御覧下さい
いづも新柄良品を取揃えたる店
Ⓗ 樋口呉服店
小名浜町字橋本 電話304番

誰もが知る犯罪の陰にひそむ
誰も知らぬ凄烈な愛慾圖繪！
ハンフリイ・ボガード コーレン・バゴール 主演
WB映畫
DARK PASSAGE
潜行者
12日―14日
二本立
磐城座
キャスト
田中絹代・長谷部健
岡讓二・三橋達也

愛染橋
しみ〴〵と胸にせまる女ごころのいじらしさ田中絹代の名演技があなたの涙をさそう!!

丈夫で安く經濟的で履き良い
ゴム靴・地下足袋・ゴム合羽
三馬弘進 タヌキ印代理店
小島ゴム店
小名浜町（第一小学校前）電話三四〇番

かぜとせきなら同時にとれる
アミロンあり
回虫と十二指腸虫、蟯虫も同時にとれる虫下しあり
マルヰ藥房
小名浜町西町 電一一五

福島縣知事登録（ロ）第四八四號
土木建築請負
二級建築士
高橋組
高橋民男
錦町中田